

健康・医療心理学

《担当者名》関口 真有 (sekiguchi@hoku-iryo-u.ac.jp)

【概要】

公認心理師の活躍の場は多岐にわたり、精神科医療だけでなく、さまざまな疾患における心理的支援や多職種連携が求められている。様々な領域における心理師の役割について学ぶ。本講義では、健康・医療心理学 やアセスメント、支援法などで学んだ知識を基に、実習科目で求められる知識の習得を目指す。

【学修目標】

様々な領域における心理社会的課題と心理的支援を理解する。
様々な領域における心理職の役割や多職種連携について理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ストレスと心身の疾病との関連	ストレス・モデルに基づくストレスマネジメント、リラクゼーション法について学ぶ。	関口 真有
2	健康心理学におけるアセスメントと心理的支援	健康心理学におけるアセスメントの方法や心理的支援の実際について学ぶ。	関口 真有
3	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (精神科領域)	精神科における心理職の役割、代表的な疾患、アセスメントや支援方法について学ぶ。	関口 真有
4	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (児童精神科領域)	児童精神科領域における心理職の役割、代表的な疾患、アセスメントや支援方法について学ぶ。	関口 真有
5	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (周産期領域)	産婦人科領域における主な疾患、患者の抱える課題、心理的支援について学ぶ。	関口 真有
6	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (高齢期)	認知症の主な特徴と患者の抱える問題、支援の実際について学ぶ。	関口 真有
7	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (難治性疾患)	難治性疾患領域における患者の抱える問題、心理的支援について学ぶ。	関口 真有
8	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (心身症)	心身医学的な配慮が必要な主な疾患の特徴、患者の抱える問題、支援方法について学ぶ。	関口 真有
9	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (生活習慣病)	糖尿病や肥満など生活習慣病患者が抱える問題、心理的支援について学ぶ。	関口 真有
10	医療現場における心理社会的課題と心理的支援 (がん 緩和ケア)	がん患者の抱える様々な問題、心理的支援について学ぶ。	関口 真有
11	地域連携と多職種協働	精神科コンサルテーション、リエゾン、総合病院におけるチーム医療について学ぶ。	関口 真有
12	予防的アプローチ	一次予防、二次予防、三次予防の概念について学び、医療保健、福祉などの現場における予防のための心理社会的介入方法について学ぶ。	関口 真有
13	地域保健活動	地域保健活動、地域での心理学的視点での支援を学ぶ。	関口 真有
14	患者 - 医療者間コミュニケーション	本講義で学習した領域に関連する、患者 - 医療者間コミュニケーションについて学ぶ。	関口 真有
15	患者 - 医療者間コミュニケーション	本講義で学習した領域に関連する、患者 - 医療者間コミュニケーションについて学ぶ。	関口 真有

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業内で行う個人ワークや感想 (google form) : 20%、期末試験 : 80%で評価を行う。

【教科書】

適宜スライド資料を配布する

【参考書】

宮脇 稔・大野太郎・藤本 豊・松野俊夫 (編) 「健康・医療心理学」(医歯薬出版株式会社)

鈴木 伸一 (編) 「からだの病気のこころのケア」(北大路書房)

鈴木 伸一 (編) 「臨床心理学の新展開 チーム医療に活かす心理学の最前線」(北大路書房)

下山晴彦, 中嶋義文 (編) 「精神医療・臨床心理の知識と技法 : 公認心理師必携」(医学書院)

北田 雅子 (著), 磯村 毅 (著) 「医療スタッフのための 動機づけ面接法 逆引きMI学習帳」(医歯薬出版)

北田 雅子 (著), 村田 千里 (著) 「医療スタッフのための 動機づけ面接2 糖尿病などの生活習慣病におけるMI実践」(医歯薬出版)

金沢吉展 (編著) 「健康・医療心理学」

【備考】

google classroomにおいて、適宜授業資料を配信する。

google formを利用して、授業内で個人ワークを行っていただくことがある

google formを利用して、毎回講義で考えたことや気づきなど、振り返りを行っていただく。

【学修の準備】

予習 : シラバス記載内容を参考に、参考書、関連図書などを用いて講義内容を予習すること (30分)

復習 : 毎回実施する復習問題に正解できるように、前回の講義内容を復習しておくこと (1時間)

公認心理師科目でもあるため、今後の演習や実習に向けた準備として、授業内容を踏まえて自分自身でさらに参考図書などで理解を深めてほしい

日常生活における自分自身の体験や、周囲の出来事と関連付けられながら、実感を伴った理解を心がけてほしい。

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】

DP4. 公認心理師の活動に関連する知識・技術を修得している。

DP5. 対人支援における多職種連携の重要性を認識している。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【ICTの活用】

学習教材 (授業資料) の配信や学習課題の提示においては、Google Classroomを利用する。

【実務経験】

臨床心理士・公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

臨床心理士・公認心理師としての実務経験に基づき、医療現場で必要とされる知識を修得できるように講義する。